

2023年度第2学期面接授業一覧（共修生用）

（日程順）

担当講師	科目名	日時	授業概要
森 幹男	聴覚情報処理と工学	11月4日（土）	本講義では、日常生活において大きな役割を果たしている聴覚についての理解を深めることを目標とします。まず、音声生成のメカニズムと聴覚の基本構造について学びます。そして、聴覚特性とその工学的応用について学びます。さらに、最新の補聴器や骨伝導の技術を題材として取り上げ、ヒトの聴覚機構についての理解を深めます。また、この講義を通して、フーリエ変換などの周波数分析手法の基本的な考え方についての理解を目指します。
		11月5日（日）	
桑原 美香	財政から考えるまちづくり	11月11日（土）	国や地方の財政の観点から「まちづくり」について考えます。理論的なアプローチだけではなく、グループワークや、駅前の見学も予定しています。人口が減少してゆく社会においては、「賢い選択と支出」が必要になります。人任せ、他人事ではない「まちづくり」のありかたについて考えていただきます。
		11月12日（日）	
木村 美幸	『この世界の片隅に』にみる戦争	11月18日（土）	私たちが暮らすもっとも「身近な地域社会」、そしてアジアやアフリカなどの「はるか遠く、貧しい国の地域社会」、それぞれの地域社会で起こっている諸問題を関連付けて考えます。日本では向こう三軒両隣の復活、助け合い・支え合い活動、地域づくりなど、公私の地域福祉活動を通し個人・地域の諸問題の解決を図ります。実践事例を通して、地域福祉、コミュニティソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカーの活動を紹介します（また地域福祉活動の中に、開発途上国の諸問題、特に児童問題）を取り込み、地域開発を支援する活動を検討します）。
		11月19日（日）	
石井パークマン 麻子	特別支援教育の現状と課題1	12月2日（土）	2007年度から日本における特別支援教育が始まり、特別なニーズのある子どもたちが可能な限り地域の学校で学ぶ制度が創られました。しかし、15年を経過した現在も学校現場での課題は少なくありません。学校がすべての児童生徒にとっての共生社会となるためには何が必要でしょうか。これらの問いについて、特別支援教育・インクルーシブ教育の歴史と現状を概観するとともに、直面する課題を検討します。なお、講師自身が日本およびスウェーデンの教育機関（小・中学校、特別支援学校、大学、福祉施設）で長年にわたり教師として得た知見や経験も活かしながら、授業を展開していきます。
		12月3日（日）	
小野田 信春	代数学と暗号	12月16日（土）	暗号と聞いて、何を連想しますか。軍事や国家機密といったものが頭に浮かぶかもしれませんが、情報通信網が高度に発達した現在、暗号はそのような特殊な目的だけでなく、メールなど日常的な通信の安全性確保のために必須の技術となっています。暗号には代数学の基礎的な理論が応用されています。たとえば、代表的な暗号であるRSA暗号には、約400年前に証明されたフェルマーの小定理が使われています。この授業では、初等整数論や有限体などの代数学の基礎を学ぶとともに、それらが暗号にどう利用されているかを説明します。
		12月17日（日）	

【授業時間帯】

1時限	9：30～11：00
2時限	11：10～12：40
3時限	13：30～15：00
4時限	15：10～16：40

※ 科目によっては準備物が必要な場合がありますので、授業概要を確認の上、詳細については、福井学習センターまでお問合せください。